

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成31年 2月20日更新

事務事業名		庁舎窓口改修業務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	総務部	課長名	吉村 幸一
	施策	2	行政改革の推進	所属課	財政課	担当者名	平田 政臣
	施策の柱	7	市民サービスの向上	所属班	契約管財班	(内線)	1240
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 7	事業連番 11730	根拠法令	消防法等
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 29年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 ~ 31 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
						成果優先度評価結果	：
						コスト削減優先度評価結果	：

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	多様化する行政事務、窓口のワンストップ化促進等により、合志庁舎に職員を集約し、市民に質の高い行政サービスを提供するため、市役所の顔となる窓口のカウンターやサインの改修、呼び出し機能を兼ね備えた発券機の設置を行い、わかりやすくやさしい便利な窓口とすることで更なるサービスの向上を図る。
【業務の流れ】	公募型プロポーザルの実施 ⇒ 契約候補者の決定 ⇒ 関係各課等・受注事業者との調整 ⇒ 改修業務 ⇒ 関係課移転
【主な予算費目】	平成29年度及び30年度、2箇年での債務負担行為による事業委託料 50,000千円【平成29年度：0円、平成30年度：50,000千円】(平成29年度において、発注・契約・事務協議、平成30年度において業務着手・完了となり、今年度は業務に係る資金調達及び出来高等が発生しないため【平成29年度：0%、平成30年度：100%】の債務負担担当する。
【意見や要望】	職員を集約しわかりやすくやさしい窓口とすることで、各種手続きが迷うことなく1つの庁舎で完結するワンストップ化が図れ、市民への更なるサービス向上につながる。 単純な庁舎の一本化となってしまうと住民からも議会からも理解が得られないため、西合志庁舎を利用する市民へのサービス低下にならないような検討が必要。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	公募型プロポーザルにより事業者を決定し、契約、次年度の改修に向け協議を行う。	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 合志庁舎窓口の改修業務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 改修業務発注件数	(単位) 件 予算の主な増減の理由 平成29年度からの新規事業
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	庁舎窓口	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 庁舎行政事務棟数 (単位) 棟
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ワンストップ化が図れ、市民にわかりやすい窓口となる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 業務進捗率 (単位) %
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 業務完了が目標達成につながるため 市民にわかりやすくやさしい窓口へと改修することで、市民サービスの向上を図るため		総トータルコスト 全体計画 ~31年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	見込	見込
① 活動指標	ア	件			1	1	0	0		
	イ									
② 対象指標	ア	棟			1	1	1	0		
	イ									
③ 成果指標	ア	%			30	30	100	0		
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円					42,700		
		その他	千円							
		繰入金	千円					2,452		
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円			0	0	45,152	0	
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人			0	0	0	0	
		延べ業務時間	時間			0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円			0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			0	0	45,152	0		

事務事業名	庁舎窓口改修業務	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 次年度改修に向けた協議をほぼ終えたため達成した
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成29年度において、協議をほぼ完了し次年度の大型連休（GW）で改修を行うところで調整済みのため達成見込み有
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 次年度で完了する事業のため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 庁舎管理事業、庁舎増築事業と類似しているが、主たるものがワンストップ化促進等に伴う市民サービス向上を図るものであるため統廃合は不可
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 利用可能な既存の什器等を利用することでコストの削減を図っており、これ以上の削減は難しい
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員で業務を実施しているため、これ以上の削減は難しい
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民サービスの向上につながるため公平性は保たれている
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 庁舎窓口の改修のため役割分担は適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						